

公共の場でのマナーと歩きスマホ

近年、スマートフォンの普及により「歩きスマホ」が日常的に見られるようになり、**事故・トラブル・迷惑行為**の原因として問題視されています。

また公共の場では従来のマナーに加えて、デジタル機器の普及や多様化する社会に対応した配慮が求められるようになっていきます。

公共の場でのマナー

NG行動

- ・ごみをポイ捨てする
- ・電車やバスで荷物を背負ったまま乗る
- ・公共交通機関での通話や大声で会話をする
- ・エレベーターなどの出入口をふさぐ
- ・道路や点字ブロックの上に自転車を停める



OK行動

- ・ゴミは持ち帰る・分別する
- ・リュックなどの荷物を前に抱える
- ・通話を控える、声のボリュームを抑える
- ・スムーズな乗降ができるようドア付近を空ける
- ・決められた駐輪スペースに自転車を停める



デジタルマナー

NG行動

- ・公共の場で大音量の動画や音楽を流す
- ・電車やバスなどで大声で通話する
- ・スマホを歩きながら操作する
- ・自撮りや動画撮影時に無関係の人が映り込む



OK行動

- ・イヤホンの音量を控える
- ・電車やバスを降りてから通話する
- ・スマホは立ち止まって操作する
- ・SNS等へ投稿する前にモザイクをかける



歩きスマホ、危険はすぐそこに…

安全リスク

- ・人や自転車、車と衝突する
- ・駅のホームから転落する
- ・ひったくりや不審者に狙われる
- 視野が通常の約1/5まで狭くなり、危険の発見が遅れる
- 周りへの注意力が下がるため、気づかないうちに狙われるリスクが…



周囲への迷惑

- ・通行を妨げる
- ・混雑時の流れを止めてしまう
- 急停止や進路変更により、人や自転車とぶつかる可能性がある
- もし相手に怪我をさせてしまった場合、法的・経済的な責任を問われる



-少しの気配りでみんなが快適に過ごせます-

マナーと聞くと、「あれをやっちゃダメ」「これをしなきゃいけない」という、自分を縛りつける厳しいルールのように感じるかもしれません。

でも、本当はそうではありません。**マナーとは、自分も周りの人も嫌な思いをせず、毎日を気持ちよく、楽しく過ごすために生み出された「心の知恵」です。**

ルールに縛られるのではなく、マナーという知恵を上手に使いこなして、自分自身の毎日をもっと自由に、もっと豊かにしていきましょう。



過去の啓発資料については、URL、二次元コードからご覧いただけます。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/393698.html>

岐阜県教育委員会 学校安全課／岐阜県子ども・女性部 私学振興課

Zeal Communications inc. All Rights Reserved.

